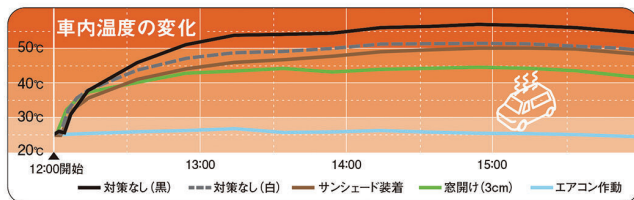


福岡県子育て支援課からのお知らせ

STOP！車内放置 その時間、命に代えられますか？

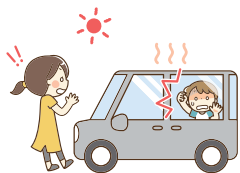
1 真夏の炎天下では車内温度がどのように変化する？

JAF のテストの結果では、8 月の晴天（外気温 35℃）で窓を閉め切った車両（黒色のボディ）では、エンジンを停止させてわずか 30 分後の 12 時 30 分頃には車内温度は約 45℃を記録。車内に留まるには非常に厳しい車内温度になることが分かっています。



2 短時間でも、子どもを車内に残すのは危険

グラフに示された通り、窓を少し開けた状態でも車内温度は 40 度を超え、身体にとって厳しい状況で、脱水症状や熱中症を招く恐れがあります。フロントガラスをサンシェード等で覆っても変化はほとんどありません。さらに、エアコンで適温が保たれていても、エンジンを停止させ 15 分後には熱中症指数が危険レベルにまで達してしまいます。車内に子供を放置するのはとても危険です。



①、②：JAF（日本自動車連盟）HP より参照

3 気温上昇だけじゃない！車内に潜む危険

車の中にスプレー缶やライターなどを放置していませんか？これらは車内温度の上昇で爆発したり発火する恐れがあります。また、感染症予防のためのアルコール消毒なども、アルコールが含まれているため発火する危険があります。保管方法を守ることはもちろんですが、車内に子どもを放置することが危険であると認識し、置き去りにしないようにしましょう。

睡眠中の赤ちゃんの死亡に 注意しましょう



睡眠中に赤ちゃんが死亡する原因には、乳幼児突然死症候群（SIDS）という病気のほか、窒息などによる事故があります。SIDS の予防方法は確立していませんが、以下の 3 つのポイントを守ることにより、SIDS の発症率が低くなるというデータがあります。

1

1 歳になるまでは、寝かせる時はあおむけに寝かせましょう

2

できるだけ母乳で育てましょう

3

たばこをやめましょう



SOS 電話相談

～思いがけない妊娠・子育て・思春期相談～

あなたの悩みを専門の相談員に話してみませんか

■妊娠・出産に関する相談 ■子育てに関する相談 ■思春期に関する相談

受付時間／月～土 9:00～17:30

（日曜日、夏休み（8/13～8/15）、年末年始（12/29～1/3）は休み）

☎ 092-406-5118

メールでの相談はこちらから

